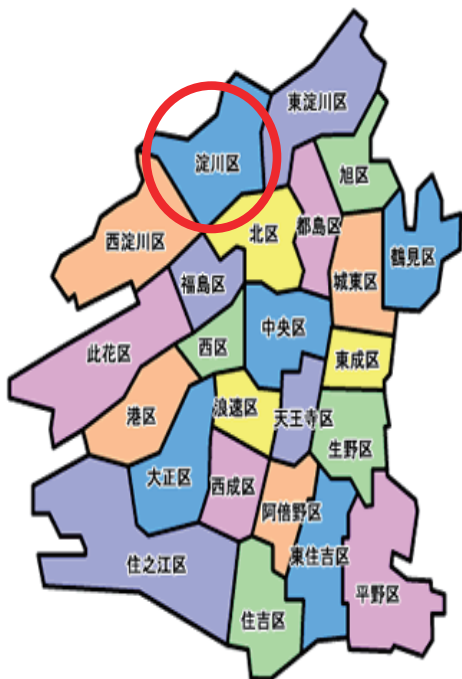


淀川区の24時間対応体制に向けた取り組みと
夢ちゃんマイノートを用いた
消防機関と高齢者施設との連携体制作り

淀川区在宅医療・介護連携相支援室の取組み

1

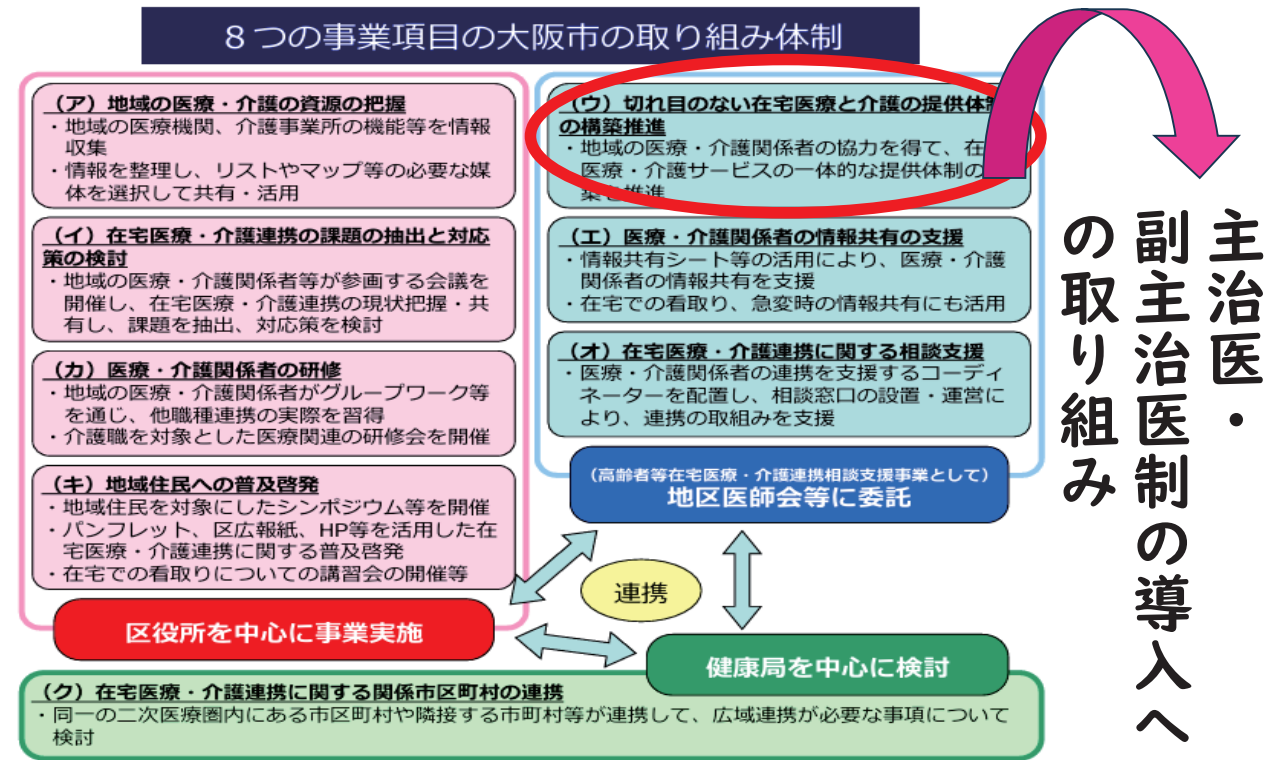
淀川区の概況



- ・ 人口 189773人（令和7年8月現在）
- ・ 高齢化率 22.8%
- ・ 全医療機関数 184件
- ・ 在宅療養支援病院・支援診療所 38件
（医師会以外12件）
（内 機能強化型13件）
- ・ 積極的医療機関 6件
- ・ 訪問看護ステーション 41件
（大阪府訪問看護ステーション協会加入 21件）
（淀川区訪問看護ステーション連絡会参加 30件）

2

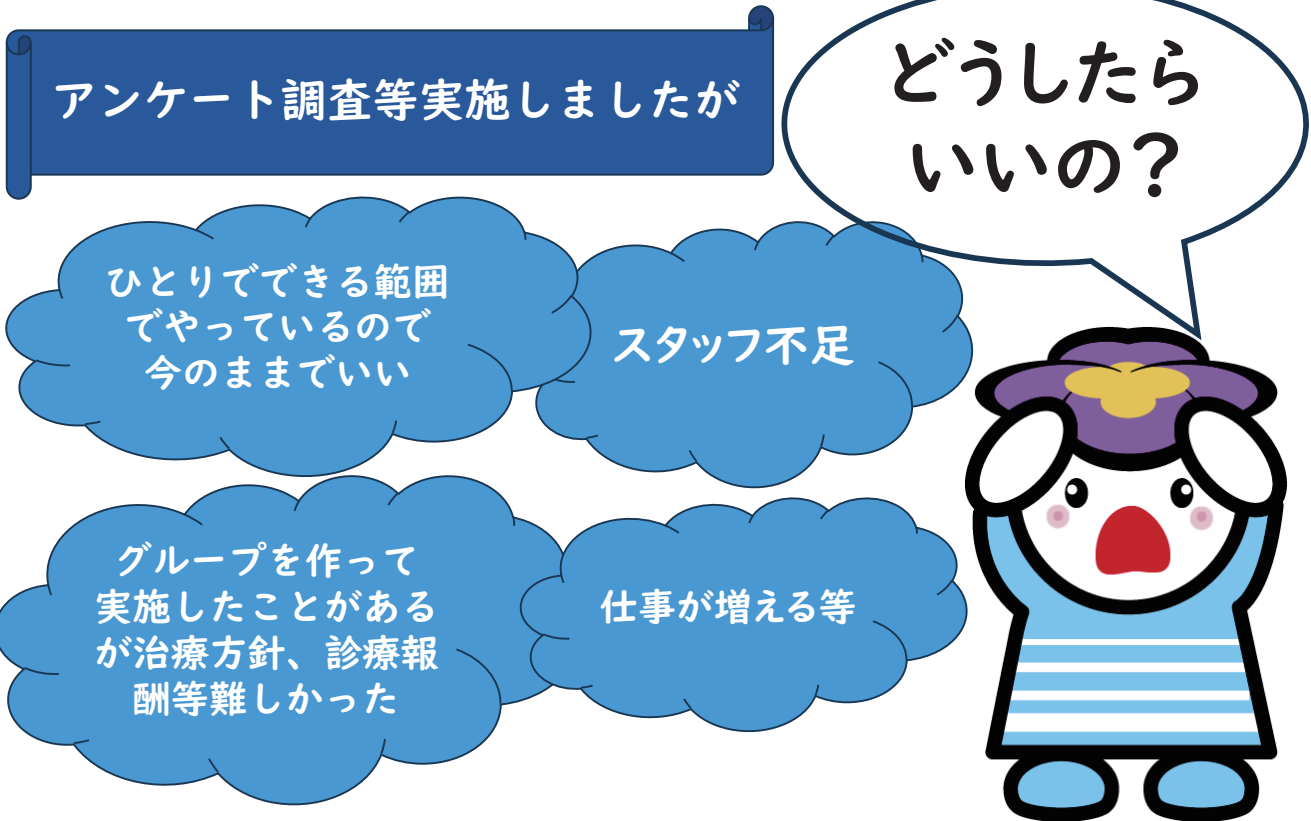
テーマに対する背景・課題取組みのきっかけ①



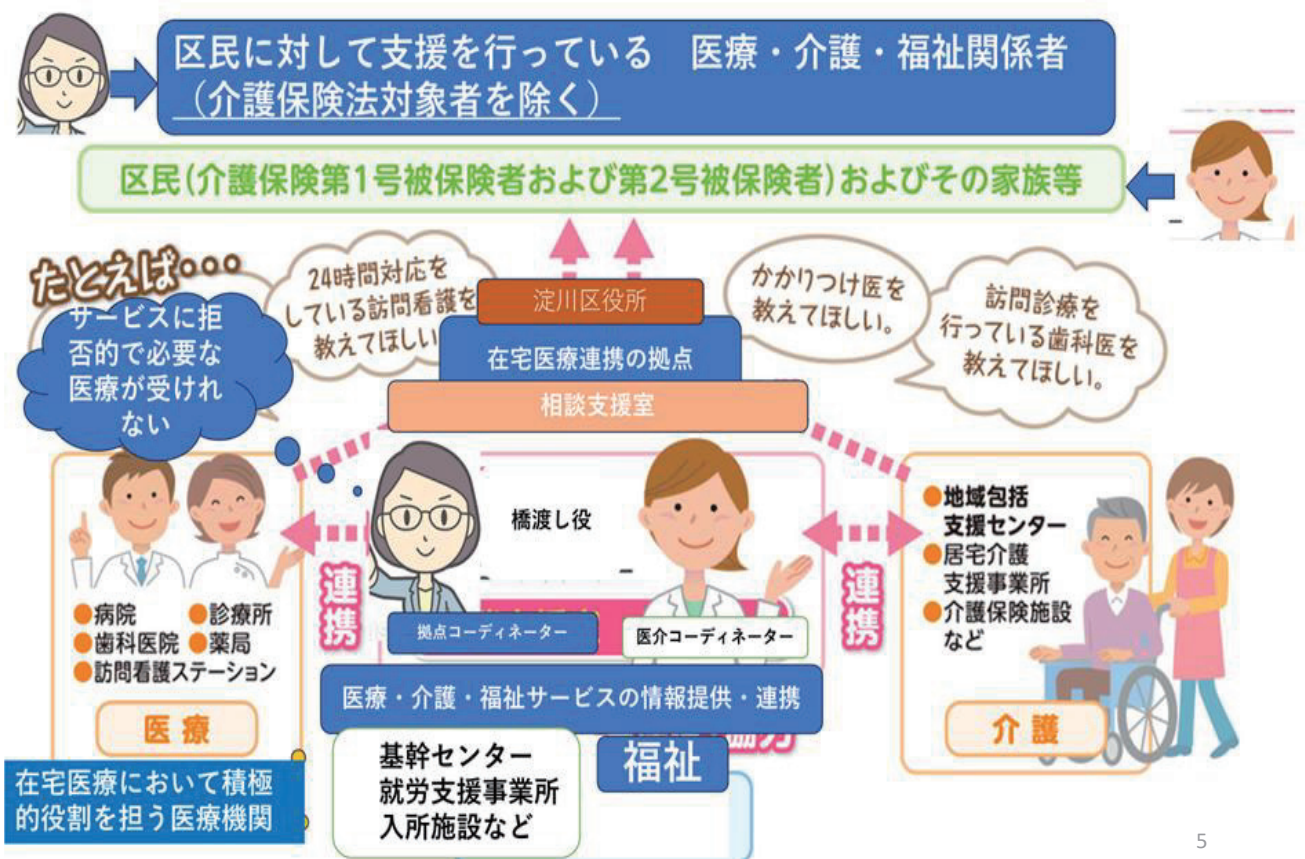
3

テーマに対する背景・課題取組みのきっかけ②

主治医・副主治医制の取り組み



2024年～在宅医療連携拠点事業開始



5

在宅医療・介護連携相談支援室の業務

在宅医療・介護連携支援
コーディネーター

在宅医療連携拠点
コーディネーター

☆切れ目のない在宅医療と介護
の提供体制の構築推進



☆多職種協働による包括的かつ継続
的な「在宅医療の24時間提供体制
の構築」

☆ 在宅医療を担う医師の人材育成
(同行訪問)

☆医療介護関係者のスムーズな
「情報共有」の支援



☆多職種による「情報共有」の促進
(MC S研修会)

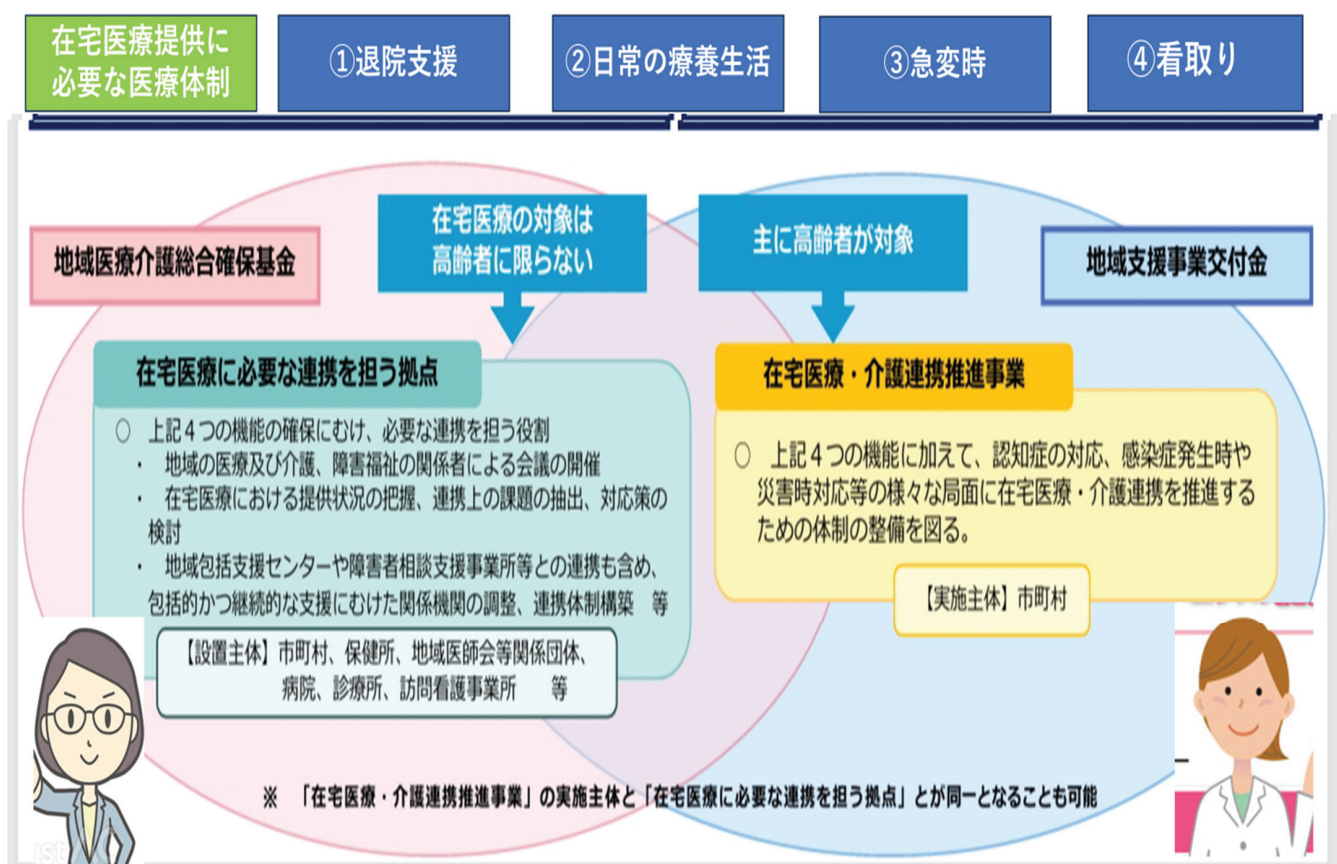
☆在宅医療・介護連携に関する
相談支援



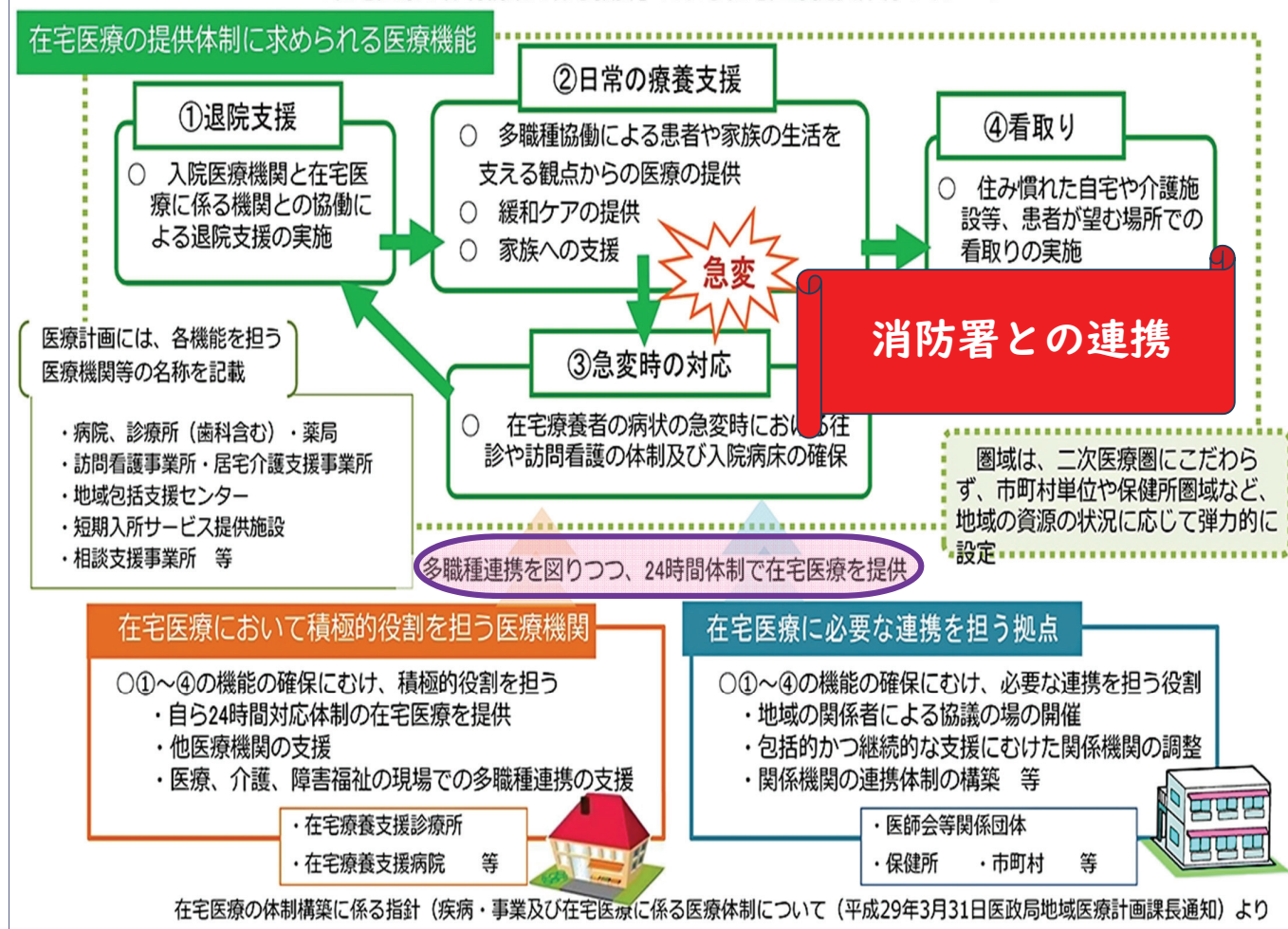
☆在宅医療に関する相談支援
(介護保険対象者を除く)

6

在宅医療に必要な連携を担う拠点と 在宅医療・介護連携推進事業との連携



～ 「在宅医療の体制構築に係る指針」による在宅医療提供体制のイメージ ～



消防署との連携

令和6年～淀川管内高齢施設との救急医療医情報交換会

・淀川消防署が主催 年1回開催

・内容

- ①大阪市消防局活動概要、推移について
- ②円滑に傷病者搬送するための調整について ⇒患者情報集約書
- ③DNARを提示された際の救急活動の説明について
- ④淀川区医師会在宅医療・介護連携相談支援室から
夢ちゃんマイノート（私の思い）の説明 ⇒令和7年度実施
- ⑤応急手当を広めていく中での応急手当普及員の存在について
- ⑥予防救急について
- ⑦施設側からの要望について

9

救急隊と高齢者施設の課題
～淀川管内高齢施設との救急医療医情報交換会から～

救急隊の困りごと

高齢者施設の困りごと

課題①

夜間救急搬送時ケースの情報確認に時間がかかる

課題①

夜間スタッフが少ないので救急搬送時の救急車の同乗は厳しい

課題②

・DNARについて

課題②

・DNARについて

10

救急隊と高齢者施設の課題 ～淀川管内高齢施設との救急医療医情報交換会から～

解決策

患者情報集約書の活用

課題①

夜間救急搬送時ケースの
情報確認に時間がかかる

救急隊には手交せず、提示のみにして下さい。

患者情報集約書		令和 年 月 日	
住所			
氏名		性別	男・女
生年月日	M・Y・D・H	年	月 日 満 歳
病歴	・高血圧・糖尿病・脂質異常・心臓病・狭心症・虚（ ） ・脳出血・人工関節・骨粗鬆症・緑内障・白内障・高脂血症 ・腎不全・人工透析・痔瘻（ ）その他（ ） ・大動脈瘤・北支脈・胃腸・十二指腸・消化器中絶・平血 ・消化器中絶・淀川キリスト・高血圧国際・西定・北野 ・加齢・行間・関西電力・その他（ ）なし		
既往の状況	・寝たきり・車椅子・杖歩行・自立 ・認知症 程度 軽度 中重度 なし 家族 看護 連絡先		
緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先
緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先
入院歴	入院歴	入院歴	入院歴
その他	キーワード（本人との関係） 連絡先（ ） 記入者 氏名 医師・看護師・事務員・その他（ ）		

★ 保険証（医療証） ★ お薬手帳の準備をお願いします。

課題②

DNARについて

夢ちゃんマイノートの活用



11

今後の取組み

- ・ 夢ちゃんマイノートを活用して淀川区内の在宅チーム&地域との連携を促進していく
- ・ 救急隊が啓発している救急車の適正利用、予防救急等在宅チームでも周知していく
- ・ 積極的医療機関との連携を進めていく
- ・ 災害時の在宅チーム&地域と消防署との連携について取り組んでいく



12

